

# 国際文化学科

## 4年間のカリキュラム

2年次に3つの系から関心や目的に応じて系を選択、その後3年次に所属系内のいずれかのコースを選択して、学生が主体となり研究を行います。

	東洋文化系		西洋文化系		複合文化系	
	日本文化コース	中国・アジア文化コース	アメリカ・太平洋文化コース	ヨーロッパ・地中海文化コース	比較文化コース	表象文化コース
<b>演習・卒業論文</b>	◎基礎演習A・B① ◎専門演習A・B③ ◎卒業論文④ ◎導入演習A・B② ◎卒論演習A・B④					
<b>文化論</b>	文化コース基礎論a～f① 文化のダイナミズムA・B①					
<b>系・コース専攻</b>	日本文化史A・B② 日本文化論A・B② 日本文学論A・B② 東アジア文化交流論A・B② 日本社会論A・B②	中国・アジア文化史A・B② 東アジア思想A・B② 中国文学概論A・B② 中国民族文化論A・B② 東アジア文化論A・B②	アメリカ・太平洋文化史A・B② アメリカ思想文化論A・B③ アメリカ社会文化論A・B② アメリカ宗教文化論A・B②	ヨーロッパ・地中海文化史A・B② ヨーロッパ文学論A・B② ドイツ文化論A・B② 地中海都市文化論A・B② 地中海宗教文化論A・B②	比較文化論A・B② 現代思想文化論A・B② 比較社会文化論A・B② 文化人類学A・B② 比較言語文化論A・B②	表象文化史A・B② 表象文化論A・B② 表象メディア論A・B② 美学・芸術学A・B② 芸術文化史A・B②
<b>専門外国語</b>	専門外国語(英語)A・B③ 専門外国語(中国語)A・B③ 専門外国語(フランス語)A・B③ 専門外国語(ドイツ語)A・B③ 専門外国語(韓国語)A・B③ 専門外国語(イタリア語)A・B③ 専門外国語(古典語)A・B③ 実用英語A・B②					
<b>学部共通</b>	現代哲学思想A・B② 世界史概論A・B② 日本史概論A・B② 中国史A・B② アメリカ史A・B②	ヨーロッパ史A・B② 宗教学A・B② 文化社会学A・B② 文化創造論A・B② アジア文化論A・B②	ジャーナリズム論A・B② ジェンダー論A・B② 人文地理学A・B② 地誌学A・B② 自然地理学A・B②	日本民俗学A・B② 国語学A・B② 漢学A・B② 考古学A・B② 古文書学A・B②	ヨーロッパ・ケルト文化論A・B② 比較文化概論A・B② 社会調査法① 質的データ分析論① 社会調査実習A・B③	
<b>自由研究</b>	自由研究Ⅰ・Ⅱ② 海外語学修Ⅰ・Ⅱ①					
<b>その他</b>	キリスト教美術A・B② キリスト教音楽A・B③ イギリス文学史A・B② アメリカ文学史A・B② コミュニケーション概論A・B② フランス現代社会論② フランス事情② フランス文学研究Ⅰ・Ⅱ③ マクroeconomicsⅠ② ミクロ経済学Ⅰ②	経済思想史② 国際経済学② 環境政策③ 日本経済史③ 西洋経済史③ 経済地理② 世界と日本の経済① 世界経済論② 社会思想史③ 社会心理学Ⅰ・Ⅱ③	アメリカ経済史② 中国経済論② 韓国経済論③ 東南アジア経済論② アメリカ経済論② ヨーロッパ経済論③ 憲法③ 国際法② 法哲学Ⅰ・Ⅱ③ 法制史③	法社会学③ 国際人権法② 国際環境法② 国際経済法③ 国際政治学② 国際関係史② 平和研究① 政治史② 政治学原論② 政治思想史②	日本政治論② 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ① 福祉環境論② 現代家族論② 生命倫理学① 人権と福祉① タナトロジー(死生学)② 福祉文化論③ 国際福祉論③ ボランティア活動論①	外国語タイピングスキルⅠ・Ⅱ① 情報活用基礎① 情報処理応用ⅠA～IE① 情報処理応用Ⅲ① 基礎統計学① 統計学総論② 自然科学特殊講義② 市場調査論② 簿記原理Ⅰ・Ⅱ①

※その他、共通科目があります。P.36～37参照

※履修科目横の①～④は履修年次を表します。◎：必修

## ZOOM IN カリキュラム

### 文化人類学

文化人類学は、フィールドワークによって、私たちは異なる文化の習俗・宗教・言語などを調査し、考察する学問です。この講義では、文化人類学という学問の成立と歴史のみならず、基本概念と理論を学び、その上で文化人類学的なまなざしを通すことで、いかに現代世界の諸問題が、新しいかたちで見えてくるのかを皆さんとともに経験することを目指します。

### 地中海都市文化論

イタリア半島は、古代から中世を経てルネサンスに至るまで、つねにヨーロッパ文化の中心地でした。ヨーロッパについて学び、考えることは、この意味でイタリア半島における諸都市で繁栄した文化と歴史を知ることと切り離せません。この講義では、考古学的・地史的な資料に加えて、美術史的資料を駆使しながら、イタリア文化の全体像を都市文化を中心に理解することを目指します。

### TOPIC

#### 戦争をフィールドワークする

～第二次世界大戦が残したものを通して「平和」について考える～

世界各地に残る戦跡を訪ね、グループでフィールドワークを行うことで、戦後70年以上を経過した今日においても、戦争の悲惨さが各地に影を落としていることを学びます。タイ・プラチャブキリカン県、カンチャナブリ県、バンコク、アメリカ・サイパン島、ポーランド・アウシュヴィッツなどを現地調査し、さらに授業での発表や講演会の開催などを通じて、平和の大切さを考えます。



### TOPIC

#### 研究旅行奨励制度

異文化体験の機会を提供するため、優れた研究旅行プランを立案した学生に奨励金を支給しています。アメリカ、ドイツ、イタリア、ルワンダ、タイなど、これまで世界各地で調査研究を行い、その成果報告書を学科のホームページで公開しています。

## 教員紹介

今井 尚生 教授【西欧近現代思想】	塩野 和夫 教授【宗教学】
伊藤 慎二 教授【考古学】	赤尾 美秀 准教授【ドイツ文学】
韓 景旭 教授【文化人類学】	朝立 康太郎 准教授【アメリカ史】
金縄 初美 教授【中国民族学】	藤田 公二郎 准教授【現代哲学】
片山 隆裕 教授【文化人類学】	大原 関一 准教授【アメリカ社会・文化】
栗原 詩子 教授【音楽学、映画学】	山田 順 准教授【キリスト教考古学】
ミヒャエラ マンケ 教授【日本文学】	伊 芝恵 准教授【日韓交流史】
松原 知生 教授【美術史】	伊東 未来 講師【文化人類学】
宮平 望 教授【アメリカ思想・文化】	二藤 拓人 講師【ドイツ文学】
宮崎 克則 教授【日本近世史】	梅村 卓 講師【中国近代史】
西村 将洋 教授【日本近現代文学】	柳沢 史明 講師【芸術学・美術史】
新谷 秀明 教授【中国近現代文学、中国語】	

## 主なゼミテーマ

- 江戸時代の社会を「古文書」から考える
- 江戸時代の日朝(韓)の交流について—朝鮮通信使を例に
- 近現代の中国語文学
- 民族文化から中国社会を読み解く
- ドイツ語圏文学・文化・思想の歴史に関する文献学的研究—ゲーテ「ファウスト」を読む—
- イタリア・地中海文化研究 イタリア半島を中心に地中海世界の多様な歴史的文化的諸相を学ぶ
- 人類学から世界を見る
- 現代世界を哲学する
- 芸術作品とは何か?
- 世界の造形を考え表象する

### PICK UP (ゼミの学び)

ゼミテーマ「世界史」という視野からアメリカ合衆国の過去と現在を考える  
朝立 康太郎 准教授

移民国家アメリカを多面的に考察し、時間的・空間的に広い視野を養う。

アメリカでの出来事は、「いまも」「むかし」もアメリカだけで完結していません。本ゼミでは、世界史の視野でアメリカの歴史と関わってきたさまざまな国、地域との運動性を考察することで、その意味を導きます。そして、学生間の意見交換やディスカッションを行いながら、自分と自分を取り囲む世界との関連性を見つけ出します。時間的・空間的に広い視野を持つことで、自らの学びや経験はより大きな成長につながります。



## STUDENT'S VOICE

英語圏だけでなく、さまざまな国の文化を学べるのが魅力です。

松本 清楓 国際文化学部国際文化学科 4年  
(沖縄県・沖縄県立那覇高等学校出身)

高校生の頃からいろいろな国の文化を学びたいと考えていました。西南学院大学の国際文化学科はさまざまな地域を専門とした先生が多くいるため、自分の学びたいことができると考え進学しました。特に興味のあるイタリア文化のゼミに入り、イタリア地中海の文化を、芸術や宗教の観点から学んでいます。また、授業では教会にある宗教画からその時代ならではの特徴や時代背景などを読み取ります。多面的に歴史を学ぶことができ、多様な知識を身に付けることができました。課題には学生も先生も、真剣に向き合って協力しながらつくりあげるので、発表の達成感はかけがえのないものになります。